

みどりの風

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

節分と鬼（おに）の話



鬼（おに）の話の前に…。今年の冬は雪が多く降りました。昨年と違いすぎて、うまく対応できない自分がいます。除雪、雪道の運転、歩き方…。新型肺炎の流行もあり、なかなか外出もできず、最近鬼のようなお腹になってきました。今年の節分前に、たよりを配付します。ご家庭でも「鬼」や「節分」を話題にしてみてください。これを読んであげても良いと思います。

2月2日は「節分」。この時期は、各地で「鬼（おに）」の話題が出ます。学校でも、自分の悪い「おに」を追い出そうといった取組を行うところもあります。鬼とえば、「おにのパンツ」が結構有名です。鬼は悪者とかこわい存在…。昔話（桃太郎）に登場しますが、今は何と言っても『鬼滅の刃』に出てくる「おに」たちのイメージが強いかもかもしれません。

節分は季節の変わり目のこと。今年は124年ぶりに2月2日が節分となりました。今年は2月3日が「立春」。その前日の2日を「季節の分かれ目」という意味で「節分」としたのです（繰り返しますが例年の節分は2/3）。実は「4回の節分」があって、今は、立春が大事にされることから、「節分」と言えば2月の「節分」が残っているようです。昔の人は、冬の季節の変わり目（節分）に病気や災い（鬼）がやってくると思った。だからこの日に、鬼に向かって豆（炒った大豆）をまくようになったのです。豆は、魔（ま）を滅（めつ）する意味がある（豆はその辺から芽が出ないように炒った豆を使用）。豆は自分の年より1つ多く食べる（数え年）と良いと言われます。大豆の30%はタンパク質でビタミンやイソフラボンもたっぷり。健康にも良かったのでしょう。

鬼のことを調べていたら、「おにのパンツ」の歌に出会いました。懐かしい。これは、元々イタリアの「フニクリ・フニクラ」という歌の曲に、昔の歌のお兄さんが歌詞を付けたと言われ、二番・三番の歌詞もあります。

豆まきでは見付けやすい・食べやすいように落花生を使う地域（北海道・東北・新潟）もあります。逆に鬼が悪者を退治するなどの言い伝えがある地域、名前に「鬼」が付く家庭などでは、「おには内（うち）」と言うこともあるようです。中国から入ってきた風習が、平安時代などでは貴族の間で行われ、室町～江戸時代になって多くの人たちが行うようになった「豆まき」。

調べてみると、「大人まで無事に育ってほしい」という願いも込められているようです。江戸時代の平均寿命は30～40歳と言われ、生まれた子どもはその半数が5歳までに命をなくしていたようです。ここまで、無事元気に生きている私たちは、それだけで「幸せなこと」なのです。

辛いこと、切ないこと、悲しいことが時々私たちにやってきます。弱い心や新たな病気がおそってくることもある。この節分・豆の話や「おにのパンツ」の歌を思い出して、時にはこの歌をうたって笑顔になって、手洗い・換気・マスク・消毒もしっかりやって、弱い気持ちや病気も吹き飛ばしましょう！今の困難をじっと耐えて頑張っている私たちに、もうすぐ春がやってきます。

おにのパンツは いいぱんつ つよいぞ つよいぞ
 とらの毛皮で できている つよいぞ つよいぞ
 5年はいても やぶれない つよいぞ つよいぞ
 10年はいても やぶれない つよいぞ つよいぞ
 はこう はこう おにのパンツ
 はこう はこう おにのパンツ
 あなたも わたしも あなたも わたしも
 みんなではこう おにのパンツ



(地域によって若干の歌詞の違いがあります)

鬼にもいいやつがいるんじゃよ。わしといっしょに、心優しい鬼が出てくる昔話や絵本を探してみよう！『おにたのぼうし』『泣いた赤おに』もあったなあ。

